

学校支援ボランティアは、学習支援を目的とするものと環境支援を目的とするものに分けられます。また、活動に伴って技術や専門的知識を要するものとそうでないものにも分けられます。

この2つの視点をクロスさせて、学校支援ボランティアを類型化すると

①ゲストティーチャー型＝学習支援×専門的

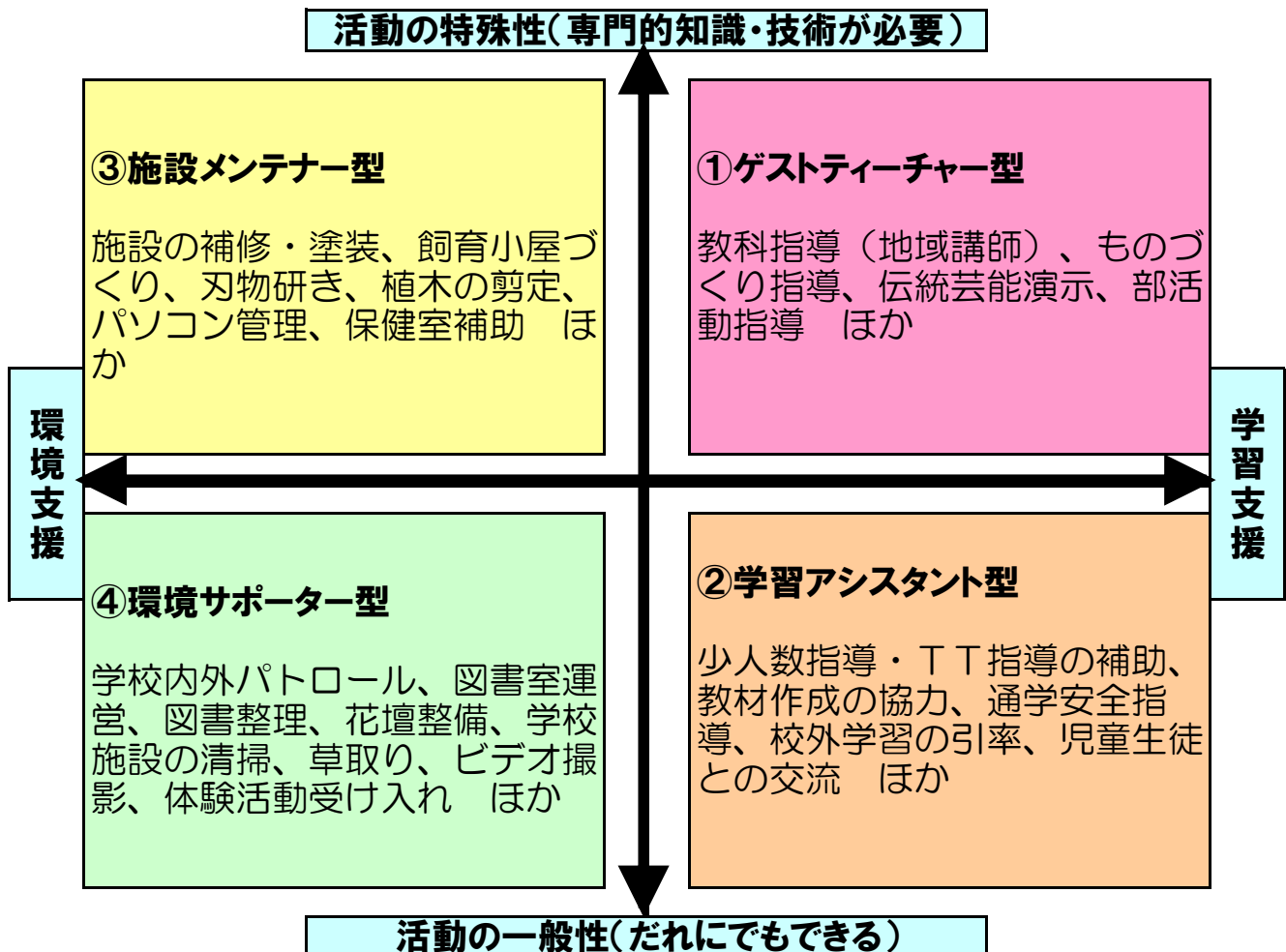
②学習アシスタント型＝学習支援×一般的

③施設メンテナー型＝環境支援×専門的

④環境サポーター型＝環境支援×一般的

という4つのタイプがあります。

学校支援ボランティアの4タイプ



学校支援ボランティアの4タイプ

ゲストティーチャー型

学習支援を目的に、児童生徒の学習活動を直接指導するタイプです。授業の一部で講話や技術指導を担当するので、従来はゲストティーチャー、ワンポイント講師、地域講師、社会人講師などとも呼ばれています。

例えば、教科学習における戦争体験や企業勤務に関する講話、英会話指導、楽器演奏、伝統工芸やパソコンの指導、部活動における指導などを行うので、誰にでもできるというものではありません。

学習アシスタント型

学習支援を目的としていますが、学習指導に中心的にかかわるのではなく、教師等の指導を側面から援助するタイプです。

例えば、児童生徒との交流・遊び、交通整理などの通学安全指導、掃除の仕方の指導、そして公園利用や公共施設見学などの校外学習時の引率補助を担っています。

施設メンテナー型

学校環境整備などの支援のために、専門性を発揮しながら施設・設備の維持・管理を担うタイプです。

例えば、校舎や飼育小屋等の補修・塗装、壁紙の張り替え、玄関前の植木等の剪定やガーデニング、パソコン等の維持・管理等のボランティアがあります。専門業者に発注するまでもないが、ある程度の専門的な知識や技術をもつボランティアと言えます。

環境サポーター型

環境支援を目的としていますが、誰にでもできる活動を行うタイプと言えます。

例えば、図書室の蔵書管理や貸出業務、図書の管理、花壇整理や草取り、校舎の窓拭き、飼育水槽の管理、校内清掃、児童生徒の文集製本、家庭科室の包丁研ぎ、学校行事でのビデオや写真の撮影、体験活動の受け入れ等が考えられます。

